

HD PANEL

最高級木製パネル



森田和昌 作

HD パネルの特徴



Point 1
組手構造

Point 2
ホゾ組構造

Point 3
JIS 認証
最上規格品

Point 3 JIS 認証最上規格品

ベニヤ、接着剤は F☆☆☆☆(ホルムアルデヒド濃度 0.1ppm 以内 JIS 認定最上規格品) を使用しています。

- ※ 精度、性能等に関しては当社従来品との比較です。
- ※ オプションとして大型作品接続用に「PANEL VISE (連結治具)」を用意しています。

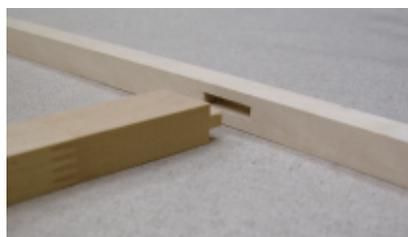
Point 1 組手構造

従来の木製パネルと異なり、裏枠の四隅に「木枠と同じ組手」を施す事でパネルの反りを低減し高強度化を実現しました。



Point 2 ホゾ組構造

従来の木製パネルと異なり、裏側の中棧に「木枠と同じホゾ構造」を施す事でパネルの歪みを低減し高強度化を実現しました。



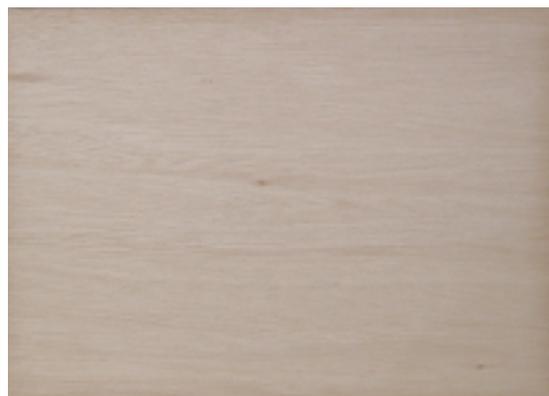
Point 4 特注品

木枠専門メーカーだからこそ出来る低価格で従来パネルと同等価格を実現しました。裏枠に米杉使用も可能です。(特注品、受注生産のみ)

幅広くご使用頂く為に2タイプのパネルをご用意

HD PANEL 油彩・アクリル・水彩画 HD-1 などにお薦め

良質な材料と高品質なベニヤを使用した最高級木製パネルです。
写真・ポスター・水彩紙の水張りはもちろんアク止め下地塗料「あくとり」を塗れば、油絵・アクリル画・水墨画も直接描けます。



HD PANEL 日本画・写真 HD-2 などにお薦め

表面にアク止め用ペットフィルム、更にその上に白原紙を貼りベニヤ表面の凸凹を無くしました。
下地作業の必要はありません。
そのままの状態でも日本画・写真等の下地が影響する薄手の作品にご使用頂けます。



PANEL VISE (連結治具)

HD パネルを2枚3枚と連結する場合

<パネルの連結方法>

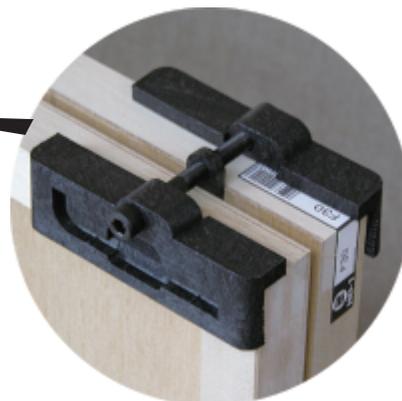
1. パネルバイスの中に装着されている六角レンチを取り外します。
(六角レンチ側を下にして軽くたたくと簡単に外れます)
2. 平らな所に HD パネルを裏面にして置き、隙間・ズレのないように合わせます。
3. バイスを合わせた棧の中より少し広く広げます。
4. 写真の位置にバイスをセットして六角レンチで締めます。
(80 号以上は3～4個使用する事をお勧めします)



HD パネルを面々向かい合わせにして作品を痛めずに運搬する場合

<パネルの持ち運び方>

1. バイスの中に装着されている六角レンチを取り外します。
(六角レンチ側を下にして軽くたたくと簡単に外れます)
2. HD パネルを向かい合わせにします。
3. バイスを合わせた棧の中より少し広く広げ、バイスの内側中央の爪を引き出し下に向けます。
4. 写真の位置2箇所バイスをセットします。
(パネルバイスの端がパネルより 2mm程出っ張るようにセットしパネルの角を保護して下さい)
5. 爪がパネルとパネルの間に挟まっているのを確認して六角レンチで軽く締めます。
6. パネルを引っくり返し反対側も3～5を行います。
7. 4箇所バイスをセットしたら六角レンチで増締めします。



アク止め方法

アク止め下地塗料 「あくとる」



品名 : 合成樹脂塗料 (白) 水性 400ml 入

成分 : 合成樹脂 (アクリル系) 中性 (PH7)

用途および特徴 :

1. 木材の表面に塗布するとアク・シミを防止し作品を黄ばみから護ります。
2. アクリル絵具・水彩絵具・油絵・パステル・水墨等の下地塗りにご利用下さい。(水彩画や水墨画のように”ぼかし”描画も可能です)
3. 塗布ローラーの刷毛 (短毛・中毛・長毛) を使い分ける事で、好みの表面テクスチャー (細密・細目・中目・荒目) が得られます。
4. 研磨特性に優れ乾式サンドペーパーで容易に研ぎ出し出来ます。

<使用方法>

1. 予め塗布面の凸部分はサンディング処理、凹部分はパテ処理しておきます。
2. 下地塗料をトナーに移し、塗布ローラー・ゴムべら・筆等で地塗りします。
地塗り面積は1平方メートルあたり約150mlです。
3. 完全に乾燥 (常温で約3時間) 後、サンドペーパー (300# ~400#) でサンディングして好みの画面をつくります。
乾燥が不十分ですとサンドペーパーが目詰まりし易いのでご注意ください。
より平滑面を望まれる場合は1~3を繰り返して下さい。
4. 研磨粉塵を除去して完了です。
下地塗料は中性 (PH7) ですので絵具等への影響はなく、安心してご使用出来ます。
5. 下地を着色する場合は、絵具を溶いてから混合攪拌します。
6. 使用後のトレー・塗布ローラー等は水洗いして下さい。



<使用上の注意>

1. 目に飛び込んだときは水でよく洗って下さい。使用後はお子様の手の届かない場所に保管して下さい。
2. 残った下地塗料は空気が内包しないように蓋を閉め、直射日光を避け、常温 (0~40℃) で保存下さい。
3. 使用後の用具は乾かないうちに早めに水洗いして下さい。

水張り方法

水彩絵具等で描いた紙は水分を含みヨレやタワミが出来ます。
これを防ぐ為に描く前に水張りをします。

<用意するもの>

【パネル張り】



木製パネル HD-1

【平張り】



5mm厚程度のシナベニヤ板
(本紙より周囲5cm 以上大きい寸法)

【パネル張り・平張り共通】



<パネル張り>

1. 本紙をパネルの大きさよりパネルに折り込む分10mm程度大きめに切って用意します。
2. ミューズカラーテープをパネル縦横より適度に長く切って用意します。
(水張りテープは僅かでも水がかかると使えなくなるので、使う分だけ用意し残りは袋に入れて保存する)
3. 本紙にムラがないようたっぷり水を含ませます。
本紙とパネルを密着させ、水刷毛を使い軽くエア抜きます。
4. 本紙をパネルに沿って折り曲げ、角をつまんでパネルの対角線の延長方向へ引張り三角に畳みます。

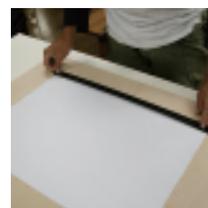
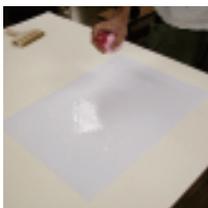


5. 一辺に隅を合わせてテープを貼ります。その上に4で畳んだ本紙ともう一辺のはみ出したテープを折り込んで貼ります。
6. 本紙のラインがくっきり出るように爪で押えます。
4~6を四隅とも行います。



<平張り>

1. ミューズカラーテープをパネル縦横より適度に長く切って用意します。
(水張りテープは僅かでも水がかかると使えなくなるので、使う分だけ用意し残りは袋に入れて保存する)
2. 本紙に水をたっぷり含ませます。(数回に分けて 満遍なく濡らす)
本紙をベニヤ板にバランスよく乗せたら水刷毛で軽く撫でエア抜きし、板に吸い付かせます。
3. ミューズカラーテープを長手2辺短手2辺の順で貼ります。
かかりの巾を7~10mm程度とり、しっかりと固定します。
(紙の水含みが少ないとテープ貼りの作業中に紙が乾き浮き上がってしまうので、このような時は表面から水を与える)



4. 完成後水平状態で日陰で半日以上乾かして下さい。

日本サイズ (FPMS) (ラワンベニヤ 2.5mm 厚使用)

号数	長手	F	P	M	S	入数	親木		
							中棧	親木	厚
0	180	× 140	× 120	× 100	× 180	30	20.0×20.5	FPM	S
SM	227	× 158			× 227	30			
3	273	× 220	× 190	× 160	× 273	30			
4	333	× 242	× 220	× 190	× 333	30			
6	410	× 318	× 273	× 242	× 410	30			
8	455	× 380	× 333	× 273	× 455	30			
10	530	× 455	× 410	× 333	× 530	30			
12	606	× 500	× 455	× 410	× 606	20			
15	652	× 530	× 500	× 455	× 652	20	22.0×23.5	1×0	1×1
20	727	× 606	× 530	× 500	× 727	20			
25	803	× 652	× 606	× 530	× 803	10			
30	910	× 727	× 652	× 606	× 910	10	29.0×30.5	2×0	2×2
40	1,000	× 803	× 727	× 652	× 1,000	10			
50	1,167	× 910	× 803	× 727	× 1,167	6			
60	1,303	× 970	× 894	× 803	× 1,303	2	<薄口> 29.0×26.5	2×1	2×2
80	1,455	× 1,120	× 970	× 894	× 1,455	2			
100	1,620	× 1,303	× 1,120	× 970	× 1,620	2	29.0×32.5	3×2	3×3
120	1,940	× 1,303	× 1,120	× 970	× 1,940	1			
130	1,940	× 1,620				1			
150	2,273	× 1,818	× 1,620	× 1,455		1			
200	2,590	× 1,940	× 1,818	× 1,620		1			

※ 改良の為、予告なしに仕様変更される場合があります。

写真サイズ (ラワンベニヤ 2.5mm 厚使用)

サイズ名	長手	短手		入数	親木 中棧 親木 ^厚		
					巾	巾	巾
倍判	900	×	600		22.0×23.5		
木炭紙判	650	×	500	20	巾	厚	
全紙判	530	×	430	×	420	30	 1×0
半紙判	400	×	320	30			
ジャケット	300	×	300	30	20.0×20.5		
四ツ切	280	×	230	30			
六ツ切	230	×	180	50			
八ツ切	200	×	150	50			
キャビネ判	150	×	120	×		110	50

B列 A列 (ラワンベニヤ 2.5mm 厚使用)

サイズ名	長手	短手		入数	親木 中棧 親木 ^厚		
					巾	巾	巾
B0	1,456	×	1,030	2	29.0×32.5		 2×2
B1 一本棧	1,030	×	728	6	29.0×30.5		 1×0
B1 二本棧					<薄口> 29.0×26.5		 2×0
B2	728	×	515	20	22.0×23.5		 1×0
B3	515	×	364	30	20.0×20.5		
B4	364	×	257	30			
B5	257	×	182	50		29.0×30.5	
A0	1,188	×	841	2	<薄口> 29.0×26.5		 2×1
A1	841	×	594	10	22.0×23.5		 1×0
A2	594	×	420	30	20.0×20.5		
A3	420	×	297	30			
A4	297	×	210	30			
A5	210	×	148	50			

※ 改良の為、予告なしに仕様変更される場合があります。

HD PANEL

最高級木製パネル



森田和昌 作

HD パネルの特徴



Point 1
組手構造

Point 2
ホゾ組構造

Point 3
JIS 認証
最上規格品

Point 3 JIS 認証最上規格品

ベニヤ、接着剤はF☆☆☆☆(ホルムアルデヒド濃度0.1ppm以内 JIS 認定最上規格品)を使用しています。

- ※ 精度、性能等に関しては当社従来品との比較です。
- ※ オプションとして大型作品接続用に「PANEL VISE (連結治具)」を用意しています。

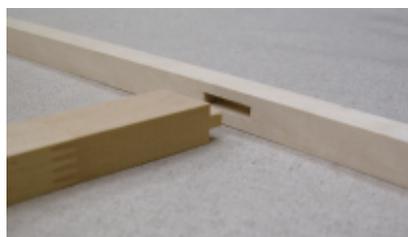
Point 1 組手構造

従来の木製パネルと異なり、裏枠の四隅に「木枠と同じ組手」を施す事でパネルの反りを低減し高強度化を実現しました。



Point 2 ホゾ組構造

従来の木製パネルと異なり、裏側の中棧に「木枠と同じホゾ構造」を施す事でパネルの歪みを低減し高強度化を実現しました。



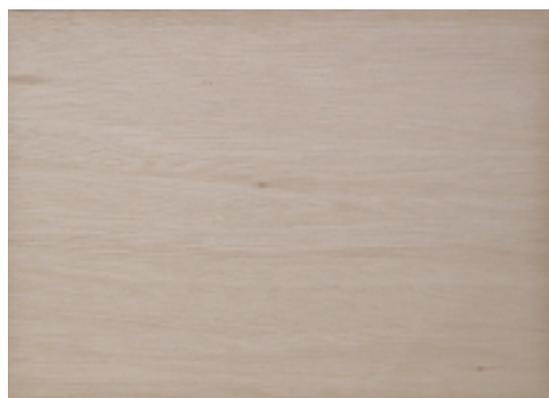
Point 4 特注品

木枠専門メーカーだからこそ出来る低価格で従来パネルと同等価格を実現しました。裏枠に米杉使用も可能です。(特注品、受注生産のみ)

幅広くご使用頂く為に2タイプのパネルをご用意

HD PANEL 油彩・アクリル・水彩画 HD-1 などにお薦め

良質な材料と高品質なベニヤを使用した最高級木製パネルです。
写真・ポスター・水彩紙の水張りはもちろんアク止め下地塗料「あくとり」を塗れば、油絵・アクリル画・水墨画も直接描けます。



HD PANEL 日本画・写真 HD-2 などにお薦め

表面にアク止め用ペットフィルム、更にその上に白原紙を貼りベニヤ表面の凸凹を無くしました。
下地作業の必要はありません。
そのままの状態でも日本画・写真等の下地が影響する薄手の作品にご使用頂けます。



PANEL VISE (連結治具)

HD パネルを2枚3枚と連結する場合

<パネルの連結方法>

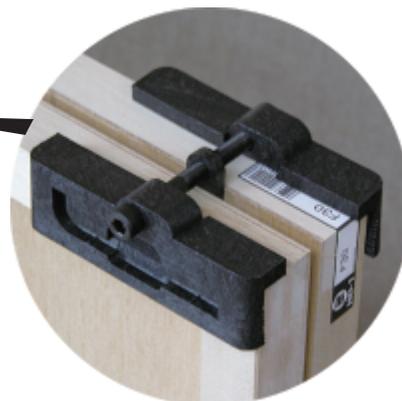
1. パネルバイスの中に装着されている六角レンチを取り外します。
(六角レンチ側を下にして軽くたたくと簡単に外れます)
2. 平らな所に HD パネルを裏面にして置き、隙間・ズレのないように合わせます。
3. バイスを合わせた棧の中より少し広く広げます。
4. 写真の位置にバイスをセットして六角レンチで締めます。
(80 号以上は3～4個使用する事をお勧めします)



HD パネルを面々向かい合わせにして作品を痛めずに運搬する場合

<パネルの持ち運び方>

1. バイスの中に装着されている六角レンチを取り外します。
(六角レンチ側を下にして軽くたたくと簡単に外れます)
2. HD パネルを向かい合わせにします。
3. バイスを合わせた棧の中より少し広く広げ、バイスの内側中央の爪を引き出し下に向けます。
4. 写真の位置2箇所にはバイスをセットします。
(パネルバイスの端がパネルより 2mm程出っ張るようにセットしパネルの角を保護して下さい)
5. 爪がパネルとパネルの間に挟まっているのを確認して六角レンチで軽く締めます。
6. パネルを引っくり返し反対側も3～5を行います。
7. 4箇所にはバイスをセットしたら六角レンチで増締めします。



アク止め方法

アク止め下地塗料 「あくとる」



品名 : 合成樹脂塗料 (白) 水性 400ml 入

成分 : 合成樹脂 (アクリル系) 中性 (PH7)

用途および特徴 :

1. 木材の表面に塗布するとアク・シミを防止し作品を黄ばみから護ります。
2. アクリル絵具・水彩絵具・油絵・パステル・水墨等の下地塗りにご利用下さい。(水彩画や水墨画のように”ぼかし”描画も可能です)
3. 塗布ローラーの刷毛 (短毛・中毛・長毛) を使い分ける事で、好みの表面テクスチャー (細密・細目・中目・荒目) が得られます。
4. 研磨特性に優れ乾式サンドペーパーで容易に研ぎ出し出来ます。

<使用方法>

1. 予め塗布面の凸部分はサンディング処理、凹部分はパテ処理しておきます。
2. 下地塗料をトナーに移し、塗布ローラー・ゴムべら・筆等で地塗りします。
地塗り面積は1平方メートルあたり約150mlです。
3. 完全に乾燥 (常温で約3時間) 後、サンドペーパー (300#~400#) でサンディングして好みの画面をつくります。
乾燥が不十分ですとサンドペーパーが目詰まりし易いのでご注意ください。
より平滑面を望まれる場合は1~3を繰り返して下さい。
4. 研磨粉塵を除去して完了です。
下地塗料は中性 (PH7) ですので絵具等への影響はなく、安心してご使用出来ます。
5. 下地を着色する場合は、絵具を溶いてから混合攪拌します。
6. 使用後のトレー・塗布ローラー等は水洗いして下さい。



<使用上の注意>

1. 目に飛び込んだときは水でよく洗って下さい。使用後はお子様の手の届かない場所に保管して下さい。
2. 残った下地塗料は空気が内包しないように蓋を閉め、直射日光を避け、常温 (0~40℃) で保存下さい。
3. 使用後の用具は乾かないうちに早めに水洗いして下さい。

水張り方法

水彩絵具等で描いた紙は水分を含みヨレやタワミが出来ます。
これを防ぐ為に描く前に水張りをします。

<用意するもの>

【パネル張り】



木製パネル HD-1

【平張り】



5mm厚程度のシナベニヤ板
(本紙より周囲5cm 以上大きい寸法)

【パネル張り・平張り共通】



<パネル張り>

1. 本紙をパネルの大きさよりパネルに折り込む分10mm程度大きめに切って用意します。
2. ミューズカラーテープをパネル縦横より適度に長く切って用意します。
(水張りテープは僅かでも水がかかると使えなくなるので、使う分だけ用意し残りは袋に入れて保存する)
3. 本紙にムラがないようたっぷり水を含ませます。
本紙とパネルを密着させ、水刷毛を使い軽くエア抜きます。
4. 本紙をパネルに沿って折り曲げ、角をつまんでパネルの対角線の延長方向へ引張り三角に畳みます。

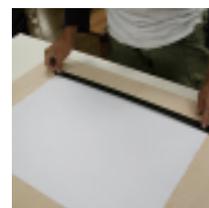
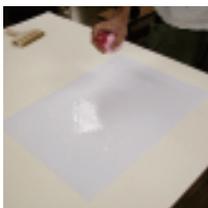


5. 一辺に隅を合わせてテープを貼ります。その上に4で畳んだ本紙ともう一辺のはみ出したテープを折り込んで貼ります。
6. 本紙のラインがくっきり出るように爪で押えます。
4~6を四隅とも行います。



<平張り>

1. ミューズカラーテープをパネル縦横より適度に長く切って用意します。
(水張りテープは僅かでも水がかかると使えなくなるので、使う分だけ用意し残りは袋に入れて保存する)
2. 本紙に水をたっぷり含ませます。(数回に分けて 満遍なく濡らす)
本紙をベニヤ板にバランスよく乗せたら水刷毛で軽く撫でエア抜きし、板に吸い付かせます。
3. ミューズカラーテープを長手2辺短手2辺の順で貼ります。
かかりの巾を7~10mm程度とり、しっかりと固定します。
(紙の水含みが少ないとテープ貼りの作業中に紙が乾き浮き上がってしまうので、このような時は表面から水を与える)



4. 完成後水平状態で日陰で半日以上乾かして下さい。

日本サイズ (FPMS) (ラワンベニヤ 2.5mm 厚使用)

号数	長手	F	P	M	S	入数	親木		
							中棧	親木	厚
0	180	× 140	× 120	× 100	× 180	30	20.0×20.5	FPM	S
SM	227	× 158			× 227	30			
3	273	× 220	× 190	× 160	× 273	30			
4	333	× 242	× 220	× 190	× 333	30			
6	410	× 318	× 273	× 242	× 410	30			
8	455	× 380	× 333	× 273	× 455	30			
10	530	× 455	× 410	× 333	× 530	30			
12	606	× 500	× 455	× 410	× 606	20			
15	652	× 530	× 500	× 455	× 652	20	22.0×23.5	1×0	1×1
20	727	× 606	× 530	× 500	× 727	20			
25	803	× 652	× 606	× 530	× 803	10			
30	910	× 727	× 652	× 606	× 910	10	29.0×30.5	2×0	2×2
40	1,000	× 803	× 727	× 652	× 1,000	10			
50	1,167	× 910	× 803	× 727	× 1,167	6			
60	1,303	× 970	× 894	× 803	× 1,303	2	<薄口> 29.0×26.5	2×1	2×2
80	1,455	× 1,120	× 970	× 894	× 1,455	2			
100	1,620	× 1,303	× 1,120	× 970	× 1,620	2	29.0×32.5	3×2	3×3
120	1,940	× 1,303	× 1,120	× 970	× 1,940	1			
130	1,940	× 1,620				1			
150	2,273	× 1,818	× 1,620	× 1,455		1			
200	2,590	× 1,940	× 1,818	× 1,620		1			

※ 改良の為、予告なしに仕様変更される場合があります。

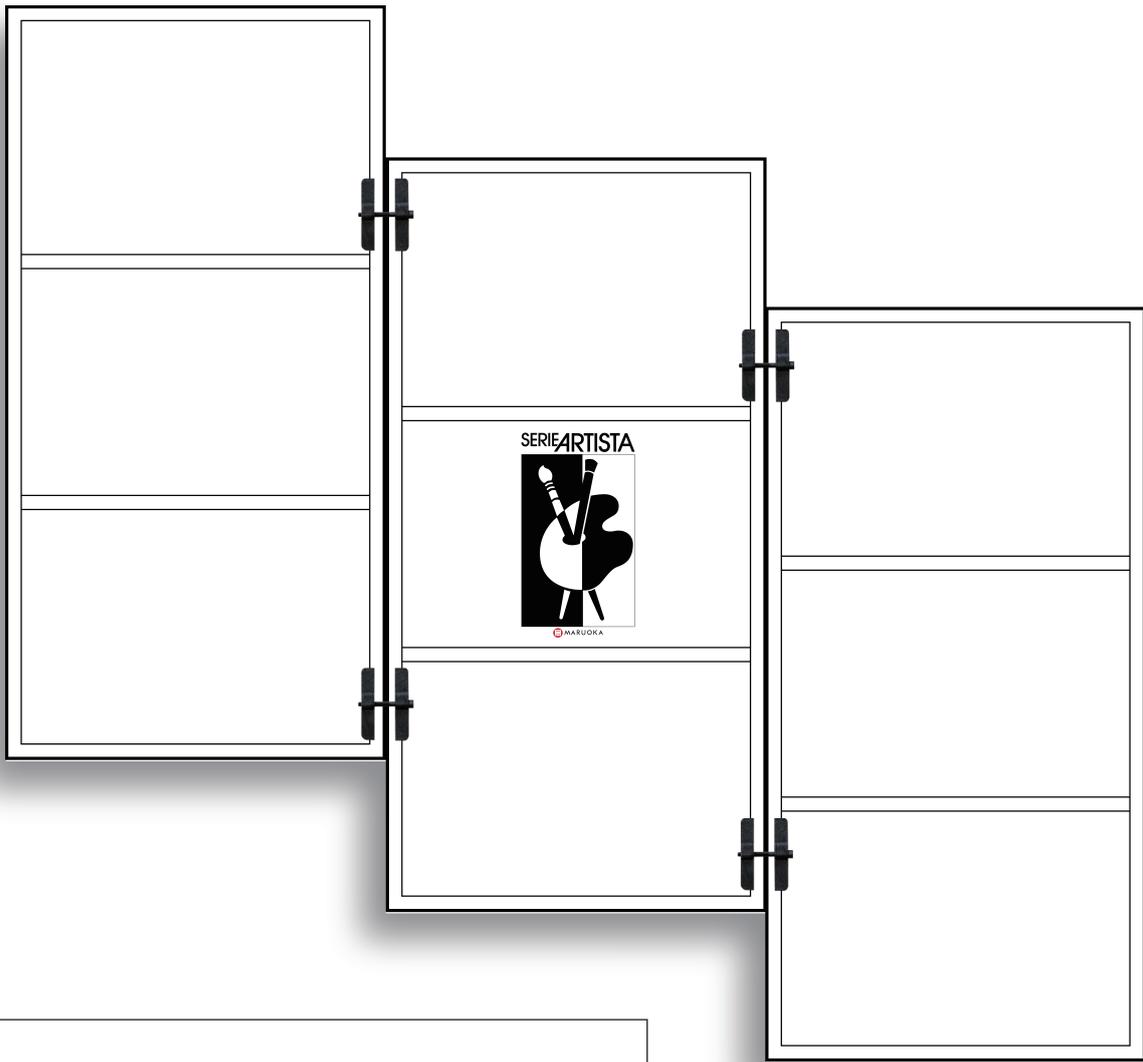
写真サイズ (ラワンベニヤ 2.5mm 厚使用)

サイズ名	長手	短手		入数	親木 中棧 親木 ^厚		
					巾	巾	巾
倍判	900	×	600	10	22.0×23.5 巾 厚	□ □ 1×0	
木炭紙判	650	×	500	20			
全紙判	530	×	430 × 420	30	20.0×20.5	□ □ 1×0	
半紙判	400	×	320	30			
ジャケット	300	×	300	30			
四ツ切	280	×	230	30			
六ツ切	230	×	180	50			
八ツ切	200	×	150	50			
キャビネ判	150	×	120 × 110	50			

B列 A列 (ラワンベニヤ 2.5mm 厚使用)

サイズ名	長手	短手		入数	親木 中棧 親木 ^厚		
					巾	巾	巾
B0	1,456	×	1,030	2	29.0×32.5 巾 厚	□ □ □ □ 2×2	
B1 一本棧	1,030	×	728	6	29.0×30.5	□ □ 1×0	
B1 二本棧					<薄口> 29.0×26.5	□ □ □ □ 2×0	
B2	728	×	515	20	22.0×23.5	□ □ 1×0	
B3	515	×	364	30	20.0×20.5	□ □ 1×0	
B4	364	×	257	30			
B5	257	×	182	50	29.0×30.5	□ □ □ □ 2×1	
A0	1,188	×	841	2	<薄口> 29.0×26.5		
A1	841	×	594	10	22.0×23.5	□ □ 1×0	
A2	594	×	420	30	20.0×20.5	□ □ 1×0	
A3	420	×	297	30			
A4	297	×	210	30			
A5	210	×	148	50			

※ 改良の為、予告なしに仕様変更される場合があります。



取扱店

天然素材で暮らしを創る

マルウカ工業株式会社

〒399-6201 長野県木曾郡木祖村藪原232-7 電話(0264)36-2137(代) FAX(0264)36-2025
URL <http://www.maruoka.co.jp/> E-MAIL info@maruoka.co.jp